



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年10月31日

上場会社名 日本金銭機械株式会社 上場取引所 東 大
 コード番号 6418 URL http://www.jcm-hq.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上東 洋次郎
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員人事総務企画本部長 (氏名) 高垣 豪 TEL 06-6703-8400
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日 配当支払開始予定日 平成24年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有 (ホームページに掲載)
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	12,239	15.9	861	115.8	768	97.3	549	87.2
24年3月期第2四半期	10,562	9.4	399	103.1	389	453.4	293	-

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 652百万円(45.4%) 24年3月期第2四半期 448百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	20.37	-
24年3月期第2四半期	10.88	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	28,279	22,928	81.1	849.81
24年3月期	28,710	22,464	78.2	832.63

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 22,928百万円 24年3月期 22,464百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	-	7.00	-	7.00	14.00
25年3月期	-	7.00	-	-	-
25年3月期(予想)	-	-	-	7.00	14.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,000	3.9	1,400	33.0	1,300	3.2	900	15.6	33.36

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 有

修正再表示 : 無

詳細は、3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期2Q	29,662,851株	24年3月期	29,662,851株
期末自己株式数	25年3月期2Q	2,682,529株	24年3月期	2,682,398株
期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期2Q	26,980,398株	24年3月期2Q	26,980,536株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は実施中です。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料の3ページをご参照下さい。

添付資料の目次

1 . 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2 . サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3 . 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第 2 四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第 2 四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国では緩やかな回復が続きましたが、欧州債務危機問題の長期化や中国の経済成長鈍化の影響などにより、総じて減速感を強めてまいりました。一方、国内経済は、東日本大震災の復興需要や自動車関連の政策などの効果が期待されましたが、円高水準の継続や海外経済の減速などの影響により、景気は停滞色を伴う不安定な状況で推移いたしました。

当社グループを取り巻く環境について、海外ゲーミング市場では、欧州地域は低調な経済環境の影響もあり減速傾向が続きましたが、北米地域は景気の回復基調を背景に好調を継続いたしました。国内では遊技場向機器市場はパチスロコーナーの人气が持続し、また、流通市場についても堅調に推移いたしました。このような状況のもと、当社グループは、顧客のニーズを捉えた積極的な販売活動を展開するとともに、効率のかつ収益性の高い企業グループ体制の構築や、コア事業における利益率の向上とコストダウンを推進し、安定的な収益基盤の確保に注力してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、122億39百万円（前年同四半期比15.9%増）となりました。利益面では、売上高の増加に加え、事業構造の再構築によるコストダウンの効果もあり、営業利益は8億61百万円（前年同四半期比115.8%増）、経常利益は7億68百万円（前年同四半期比97.3%増）、四半期純利益は5億49百万円（前年同四半期比87.2%増）となりました。

なお、当第2四半期の為替レートは、米ドル79.78円（前年同四半期は81.78円）、ユーロは103.76円（前年同四半期は116.02円）で推移いたしました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

日本金銭機械

第1四半期に引き続き、金融機関向けの紙幣還流ユニットや、各種用途に対応した紙幣識別機ユニットの販売が好調であったことから、当セグメントの売上高は51億38百万円（前年同四半期比19.6%増）、セグメント利益は2億72百万円（前年同四半期は2億72百万円の損失）となりました。

遊技場向機器事業

パチスロコーナーの設備機器需要が引き続き好調を維持し、メダル自動補給回収システムなどの売上が増加したことから、当セグメントの売上高は50億40百万円（前年同四半期比4.7%増）となりましたが、利益面では製品開発費や顧客サポート費用の増加があったことから、セグメント利益は1億23百万円（前年同四半期比36.8%減）となりました。

北米地域

主力新製品である紙幣識別機ユニットの受注活動を積極的に行ったことにより、新規カジノにおける高い成約率を維持するとともに、旧製品からの入替需要も増加したことから、当セグメントの売上高は39億72百万円（前年同四半期比47.0%増）、セグメント利益は2億73百万円（前年同四半期比169.2%増）となりました。

欧州地域

厳しい地域経済の状況や、ドイツにおけるホールの設置台数制限規則の改正を見越した買い控えが継続していることに加え、為替が円高基調で推移したことにより、当セグメントの売上高は19億95百万円（前年同四半期比16.9%減）、セグメント利益は1億98百万円（前年同四半期比1.7%減）となりました。

アジア地域

当セグメントは、当社グループの生産機能を担っており、グループ会社向けの販売が堅調に推移したことなどから、売上高は43億43百万円（前年同四半期比37.5%増）、セグメント利益は1億14百万円（前年同四半期比14.0%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は282億79百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億30百万円減少いたしました。「商品及び製品」、「仕掛品」が増加した一方、「原材料及び貯蔵品」および「現金及び預金」が減少いたしました。

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は53億51百万円となりました。「支払手形及び買掛金」が減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ8億94百万円減少いたしました。

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は229億28百万円となり、前連結会計年度末に比べ、4億63百万円増加いたしました。四半期純利益を計上したほか、配当金の支払、為替換算調整勘定が増加したことによります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間では、仕入債務の減少7億94百万円などの資金の支出がありましたが、税金等調整前四半期純利益7億83百万円、減価償却費2億86百万円、たな卸資産の減少2億4百万円などの資金の増加がありましたので、営業活動によるキャッシュ・フローは4億13百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローでは、定期預金の増加による支出3億91百万円、有形固定資産の取得による支出1億42百万円、貸付けによる支出34百万円などがありましたので、4億92百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローでは、配当金の支払額1億85百万円、リース債務の返済による支出96百万円がありましたので、2億60百万円の支出となりました。

これらの結果に加え、現金及び現金同等物に係る換算差額93百万円の資金の減少がありましたので、現金及び現金同等物は60億75百万円となり、前連結会計年度末に比べ、4億33百万円減少いたしました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループを取り巻く経営環境は、国内外とも景気の先行きは不透明であり、不確実性の高い、厳しい状況が続くものと予想されるなか、当社グループは、時代や環境の変化に流されることのない、安定的な収益基盤を確保するために、1)効率的かつ収益性の高い企業グループ体制の構築、2)コア事業における収益率の向上とコストダウンの推進の2点を会社の対処すべき課題として認識するとともに、その改善に向けて積極的に企業活動を展開しております。

このような状況のなか、当社グループは、従前より様々に検討を重ねて参りました中期経営計画(2013年3月期から2015年3月期までの3ケ年)をこの度、新たに策定いたしました。併せて、その中期経営計画での基本方針及び重点施策の一つであります、国内販売事業の統合・再編につきましても、平成25年4月から新体制を推進すべく、現在、検討を進めておりますが、まずは、今期の業績予想、並びに各事業施策の着実な達成に向けて、全グループを挙げ、積極的に取り組んでまいります。

平成25年3月期の業績につきましては、平成24年8月23日の業績予想数値からの変更はありませんが、今後の需要動向や各種経営課題の進捗などを確認したうえで、適時開示が必要となった場合には、速やかに公表いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ1,960千円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,237,978	7,185,948
受取手形及び売掛金	5,619,524	5,591,058
有価証券	134,691	181,836
商品及び製品	4,154,458	4,402,305
仕掛品	743,172	929,912
原材料及び貯蔵品	3,226,092	2,651,015
その他	929,988	925,202
貸倒引当金	95,152	116,978
流動資産合計	21,950,753	21,750,302
固定資産		
有形固定資産	4,939,269	4,885,071
無形固定資産	148,193	89,651
投資その他の資産		
その他	1,929,559	1,616,074
貸倒引当金	257,142	61,196
投資その他の資産合計	1,672,416	1,554,878
固定資産合計	6,759,878	6,529,600
資産合計	28,710,632	28,279,902
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,561,926	2,797,396
未払法人税等	60,897	81,359
賞与引当金	277,727	281,034
役員賞与引当金	26,000	13,000
事業構造改善引当金	150,000	91,397
その他	1,339,384	1,363,726
流動負債合計	5,415,936	4,627,914
固定負債		
退職給付引当金	23,156	24,002
負ののれん	16,024	-
その他	790,872	699,937
固定負債合計	830,053	723,939
負債合計	6,245,989	5,351,853
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,216,945	2,216,945
資本剰余金	2,068,959	2,068,959
利益剰余金	23,560,313	23,921,055
自己株式	2,325,837	2,325,916
株主資本合計	25,520,380	25,881,043
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,529	43,334
為替換算調整勘定	3,072,267	2,996,328
その他の包括利益累計額合計	3,055,738	2,952,994
純資産合計	22,464,642	22,928,049
負債純資産合計	28,710,632	28,279,902

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第 2 四半期連結累計期間)

(単位 : 千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)
売上高	10,562,239	12,239,606
売上原価	6,266,688	7,552,174
売上総利益	4,295,551	4,687,432
割賦販売未実現利益戻入額	27,699	29,790
割賦販売未実現利益繰入額	43,695	31,115
差引売上総利益	4,279,554	4,686,107
販売費及び一般管理費	3,880,252	3,824,227
営業利益	399,302	861,879
営業外収益		
受取利息	16,710	16,977
受取配当金	11,542	11,148
負ののれん償却額	96,147	16,024
その他	11,129	14,498
営業外収益合計	135,529	58,648
営業外費用		
支払利息	12,249	11,056
為替差損	121,219	137,715
持分法による投資損失	-	2,304
その他	11,773	892
営業外費用合計	145,242	151,968
経常利益	389,589	768,560
特別利益		
固定資産売却益	-	146
投資有価証券売却益	-	15,000
特別利益合計	-	15,146
特別損失		
固定資産除却損	2,812	314
投資有価証券評価損	2,368	-
特別損失合計	5,180	314
税金等調整前四半期純利益	384,408	783,391
法人税、住民税及び事業税	91,067	235,943
法人税等調整額	284	2,156
法人税等合計	90,782	233,786
四半期純利益	293,625	549,605

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
四半期純利益	293,625	549,605
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	24,766	26,804
繰延ヘッジ損益	397	-
為替換算調整勘定	130,514	77,198
持分法適用会社に対する持分相当額	-	1,260
その他の包括利益合計	154,882	102,743
四半期包括利益	448,508	652,348
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	448,508	652,348
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	384,408	783,391
減価償却費	297,409	286,832
負ののれん償却額	96,147	16,024
引当金の増減額(は減少)	10,762	183,079
事業構造改善引当金の増減額(は減少)	-	58,602
持分法による投資損益(は益)	-	2,304
受取利息及び受取配当金	28,252	28,125
支払利息	12,249	11,056
為替差損益(は益)	81,781	127,756
有形固定資産除売却損益(は益)	2,812	168
投資有価証券売却損益(は益)	-	15,000
投資有価証券評価損益(は益)	2,368	-
売上債権の増減額(は増加)	205,631	50,166
たな卸資産の増減額(は増加)	453,896	204,360
仕入債務の増減額(は減少)	349,720	794,584
未収消費税等の増減額(は増加)	141,049	41,842
その他	219,985	191,748
小計	668,387	604,211
利息及び配当金の受取額	27,656	28,105
利息の支払額	12,249	11,056
法人税等の支払額	235,711	207,457
営業活動によるキャッシュ・フロー	448,081	413,803
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(は増加)	-	391,861
有価証券の純増減額(は増加)	2,367	3,856
有形固定資産の取得による支出	233,869	142,784
有形固定資産の売却による収入	3,254	941
無形固定資産の取得による支出	4,535	15,057
投資有価証券の取得による支出	2,088	1,303
投資有価証券の売却による収入	-	96,481
貸付けによる支出	55,646	34,690
貸付金の回収による収入	649	50
その他	100	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	294,502	492,080
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	188,292	185,170
リース債務の増加による収入	104,986	21,273
リース債務の返済による支出	74,932	96,964
自己株式の取得による支出	202	78
自己株式の売却による収入	80	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	158,360	260,939
現金及び現金同等物に係る換算差額	43,225	93,969
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	38,444	433,185
現金及び現金同等物の期首残高	8,150,518	6,508,748
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,188,962	6,075,562

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

(セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	日本金銭機械	遊技場向機器事業	北米地域	欧州地域	アジア地域	
売上高						
外部顧客への売上高	721,458	4,709,034	2,660,716	2,392,260	78,768	10,562,239
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,574,416	104,293	42,286	8,079	3,080,188	6,809,264
計	4,295,874	4,813,327	2,703,003	2,400,340	3,158,957	17,371,503
セグメント利益又は損失()	272,661	194,978	101,711	201,846	100,637	326,513

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	326,513
未実現利益の消去	70,695
負ののれん償却額	96,147
受取配当金の消去	126,883
全社収益	12,229
その他の調整額	10,886
四半期連結損益計算書の経常利益	389,589

(注) 全社収益は、主に報告セグメントに帰属しない営業外損益であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					合計
	日本金銭機械	遊技場向機器事業	北米地域	欧州地域	アジア地域	
売上高						
外部顧客への売上高	1,239,387	4,940,016	3,955,693	1,989,823	114,686	12,239,606
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,899,153	100,646	16,744	5,645	4,228,791	8,250,981
計	5,138,541	5,040,662	3,972,437	1,995,468	4,343,477	20,490,588
セグメント利益	272,992	123,295	273,854	198,470	114,751	983,363

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	983,363
未実現利益の消去	9,835
負ののれん償却額	16,024
受取配当金の消去	265,133
全社収益	11,532
その他の調整額	12,937
四半期連結損益計算書の経常利益	768,560

（注）全社収益は、主に報告セグメントに帰属しない営業外損益であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

（減価償却方法の変更）

「会計方針の変更」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より有形固定資産の減価償却方法を変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間のセグメント利益は、「日本金銭機械」で290千円、「遊技場向機器事業」で1,670千円増加しております。